

バリアフリーニュース (第9号)

2017年活動報告

平成29年9月6日

Koboパーク宮城で小学生90名が 障がい者体験

～高齢者・障がい者に寄り添う～

国土交通省東北運輸局・東北地方整備局では、急速な高齢化社会の進展や障がい者の自立と社会参加の要請に対応した行動しやすい環境づくりを目指しております。

平成29年9月6日、楽天Koboパーク宮城において、「心のバリアフリー」の育成、促進を目的としたバリアフリー教室を以下のとおり開催しました。

この教室は同球場が「平成21年度国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰受賞」したことをきっかけに平成24年から付近の小学校に声かけして毎年実施しているもので今年で6回目となります。

今回は仙台市立原町小学校 4年生 88名が①車いす利用者からの講話聴講②高齢者の疑似体験・同介助体験③車いす体験・同介助体験を行いました。

子供たちには、この体験を通じてバリアフリーについての理解が深まり、困っている人を見かけたら気軽に声かけでき互いに助け合う心（心のバリアフリー）をはぐくんで頂きたいという思いがあります。

午後は東北工業大学の学生や運輸局若手職員等を対象としたバリアフリー教室を実施しました。

建築関係を専攻している大学生たちは球場内のバリアフリー関連施設の見学や疑似体験を通してユニバーサルデザインの重要性を学んで頂きました。また、運輸局若手職員は人材育成プログラムの一環として「消費者行政」とはどのようなものかを知ってもらい、改めて東北行政への理解と、横断的な職員の繋がりを今後の業務に活かしてもらうために本教室を体験しました。

<実施概要>

【日時】平成29年9月6日（水） 9：30～12：00

【場所】楽天 Kobo パーク宮城 正面入口

平成21年度国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰受賞

【スケジュール】午前（9：30～12：00）

- ① 9:30～ 9:50 オリエンテーション
- ② 9:50～ 11:45 体験
- ③ 11:45～ 意見交換

【体験者】

仙台市立原町小学校 4年生 88名の児童

【体験内容】

- ①車いす利用者からの講話
- ②高齢者の擬似体験・介助
- ③車いす体験・同介助体験

【協力】

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 宮城野区事務所

株式会社楽天野球団

伊藤 清市氏（NPO仙台バリアフリースーツアーセンター理事長）

平成29年9月29日

「公共交通事故被害者等支援フォーラム」及び「障害者差別解消法セミナー」開催

～快適で安心して利用できる交通機関をめざして～

公共交通事業者の事故被害者支援計画策定推進を図るためのフォーラムと障害者差別解消法施行から1年、障害者に対する「差別」とは「合理的配慮」とは何かを改めて考えるセミナーを同時に開催しました。

平成29年9月29日、東北運輸局二階会議室において利用者の利便性や安全性の向上をめざして主に管内の公共交通事業者や運輸局職員等を対象として実施されたもので60名以上の方が出席しました。

各関係分野の専門機関の取り組み事例などを紹介され「公共交通事故被害者等支援」と「障害者差別解消」について出席者が共に考える機会となりました。

第1部「公共交通事故被害者等支援フォーラム」では宮城県警察本部 犯罪被害者支援室 心理カウンセラーの浅野 晴哉さんから被害者支援におけるもっとも重要な「寄り添う」ことの意義を伺い、心のケア等の取り組みを紹介していただきました。

また、国土交通省公共交通事故被害者支援室の実施体制を説明し安全意識のさらなる向上と公共交通事故による被害者支援の意義等について改めて認識していただきました。

第2部の「障害者差別解消法セミナー」では施行から一年たった障害者差別解消法の趣旨をさらに深く広く浸透させるため一層の啓発・促進を図ることを目的として開催しました。仙台市 健康福祉局 障害福祉部 障害企画課 五十嵐 美香子 さんから講話「相談事例からみる障害を理由とする差別の解消について」を伺いました。参加者に対して、施行後に寄せられている相談事例等が紹介され公共交通機関ではタクシーに関する相談が多いことがわかりました。

続いて子育てタクシー協会会長で(有)フタバタクシー社長の及川 孝さんからタクシー

関係の取り組みが披露された後、場所を地下1階の地下駐車場に移して実技指導「適切な障害者の乗せ方」が行われました。フタバタクシーの中村 正美さんから車イス利用者や視覚障害者、妊婦の乗車降車方法を詳細に説明してもらいました。

同セミナーを通して、どんなことが障害者「差別」に該当し、その「解消」にはどうしたらいいのか、どんな「合理的配慮」が障害を取り除いてくれるのか、自分たちができる「配慮」とは何かを考え・学んでいただきました。

<実施概要>

【日 時】平成29年09月29日（金） 13：25～16：00

【場 所】仙台第四合同庁舎2階共用会議室（仙台市宮城野区鉄砲町1番地）

【参加者】管内公共交通事業者（東北各県バス協会会員、東北鉄道協会会員、東北各県ハイヤー・タクシー協会等会員、東北旅客船協会会員）、関係団体、一般の方、運輸局職員等。

平成29年6月23日

東北バリアフリー観光会議

が始動!

東北運輸局は「東北バリアフリー観光会議」を6月23日(金)設置し第一回となる会合を局内会議室で開催しました。

今後魅力あるバリアフリーツアー提供に向け関係者の連携を深めていくことを確認しました。

本格化する高齢化社会到来や2020年東京パラリンピック開催を控え観光におけるバリアフリー対応は避けて通れない不可欠な問題となっています。

本会議では関係者が一堂に会してバリアフリー観光誘客への取り組みの現況報告や意見・情報の交換を行った。まず、既に取り組みを行っている各団体（NPO等）からの事例等の紹介、障害者や関係者からの意見等の後、東北各県観光担当者などを含めた出席者間の意見交換が行われた。各機関・団体の抱えている問題や思いなどの共有化が図れ協働により今後、

1. バリアフリー観光連携の輪を東北全体に広げて行くこと、
2. 連携したモデルコースづくり などが提起され、

連携を深めていくことを確認。東北を訪れるお客様に障壁を感じさせないおもてなしを如何に提供すべきか、障害の有無にかかわらず快適な旅をしていただくために互いの知恵を出し合いノウハウを交換する、魅力あるツアー提供体制のスタートが切られました。

今後も東北運輸局ではバリアフリー観光について意見交換する場を継続し東北地方における効果的な誘客対応とは何かを探っていきます。

<実施概要>

【日 時】平成29年06月23日(金) 13：30～15：30

【場 所】仙台第四合同庁舎2階共用会議室（仙台市宮城野区鉄砲町1番地）

【出席者】東北各県バリアフリー観光関係者（NPO等）、東北運輸局バリアフリーリーダー、東北各県観光担当職員、東北運輸局職員ほか



東北運輸局バリアフリーリーダーの交替

6月23日(金)「東北バリアフリー観光会議」席上で福島県リーダーの菅野 真由美さん（福島市建築審査会委員 外）から

佐藤 由香利さん（NPO ふくしまバリアフリーツアーセンター長）への交替が発表されました。

菅野 真由美さんは平成20年3月からリーダーとして多岐にわたり貴重なご意見、ご指導を賜りました。今後の益々のご発展とご健康を祈念いたします。

このニュースは、バリアフリー関係の話題を中心に、東北6県及び市町村のバリアフリー関係担当者、交通事業者、バリアフリーリーダー並びに社会福祉協議会等にお送りしています。

ニュースに配信について、配信先の追加、変更、停止等を希望される方は、お手数ですが、当方へご連絡ください。

がんばろう!東北



東北運輸局交通政策部消費者行政・情報課
〒983-8537
仙台市宮城野区鉄砲部町1番地
TEL:022-791-7513
FAX:022-791-7539